

第8回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

第8回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催のもと、8月25日～28日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバルの一環として、第8回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールを開催しました。京都大学の木本恒暢教授をスクール長とし、筑波大学と産総研TPECの共催として実施されました。今回はこれまで最高の164名（うち学生110名）が参加し、第1～8回の通算で1100名が受講したことになります。このサマースクールは、筑波大学大学院パワーエレクトロニクスコースの集中講義として他大学からの履修も可能になっており、筑波大学以外の大学の学生より単位認定の申請がありました。

授業風景



交流会の様子



講義は3日間で、1日目の基礎、2日目の応用、3日目の最先端（英語での講義）として行われました。海外からは、Infineon TechnologiesのGerald Deboy博士よりSiとワイドギャップ半導体に関する講義を、またUniversity of ArkansasのH. A. Mantooth教授からは、実装と回路設計に関する講義をしていただきました。

全体写真（中央手前の4名は奨励賞受賞者）



- 第1日目 基礎（技術史とパワエレ基礎、現状と課題）
 - 第2日目 応用（ワイドバンドギャップ半導体への期待）
 - 第3日目 最前線（研究開発の最前線）【英語講義あり】
 - 第4日目 見学会（オプション）
- Aコース：鉄道総研／東京都国立市（参加 18名）
 Bコース：東芝府中事業所／東京都府中市（参加 18名）
 Cコース：TIA パワーエレクトロニクス研究拠点／茨城県つくば市（参加 35名）
 Mコース：日立ハイテクノロジーズ（参加 19名）

その他国内の先生を含め、世界のパワーエレクトロニクス分野で活躍している著名な先生の講義を直に聴講できたことは、学生にとって非常に良い機会であったと思います。各講義では、質問の時間が足りず、休憩時間にも講師の先生と議論している学生の姿が数多く見られました。3日目の夕方には修了式が行われ、本サマースクールで積極的意欲的に参加したとしてTIAパワーエレクトロニクスサマースクール奨励賞が4名の学生に送られました。4日目は、見学会が行われました。見学は（公財）鉄道総合技術研究所、（株）東芝府中事業所、筑波大学を含むTIA関連施設、（株）日立ハイテクノロジーズの4コースであり、パワーエレクトロニクスに関連した現場を見学することは、学生にとって興味深かったと思われます。

オプションツアー



開催日	2019年8月25日(日)～28日(水)
場所	産業技術総合研究所つくば中央、共用講堂
主催	TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所
共催	筑波大学大学院数理物質科学研究科
後援	TIA運営最高会議
参加人数	164名 内訳：学生110名（大学院生88名、学部・高専生22名） 社会人54名（TPEC参画企業42名、一般企業11名、公的機関1名）
表彰者	奨励賞4名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1